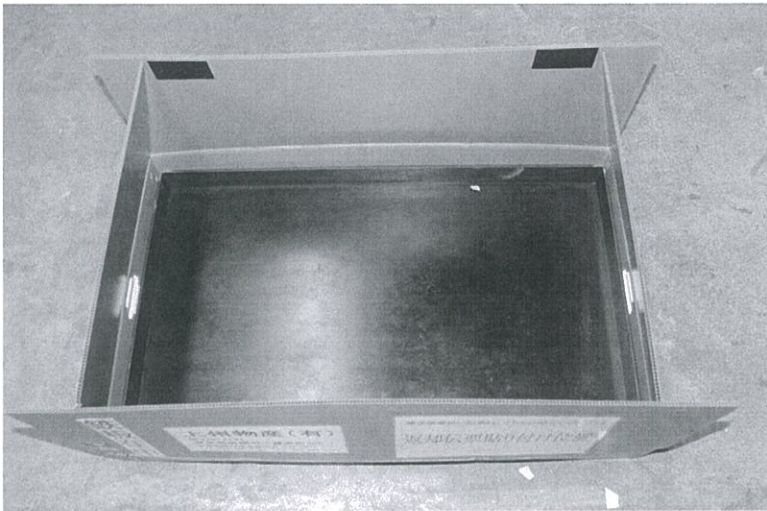
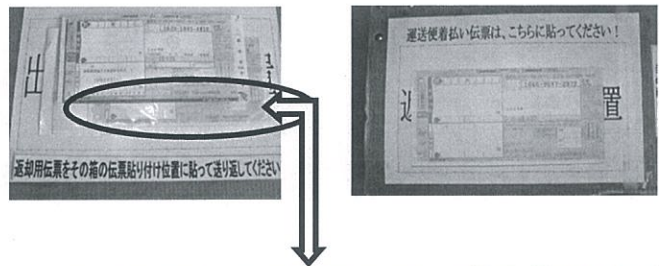


** 鉄板:返却時の梱包方法 **



*鉄板上の残った食材を捨てて頂き、液体(油・タレ等)をコテで簡単に取り除いて頂きまして箱に入れてください。

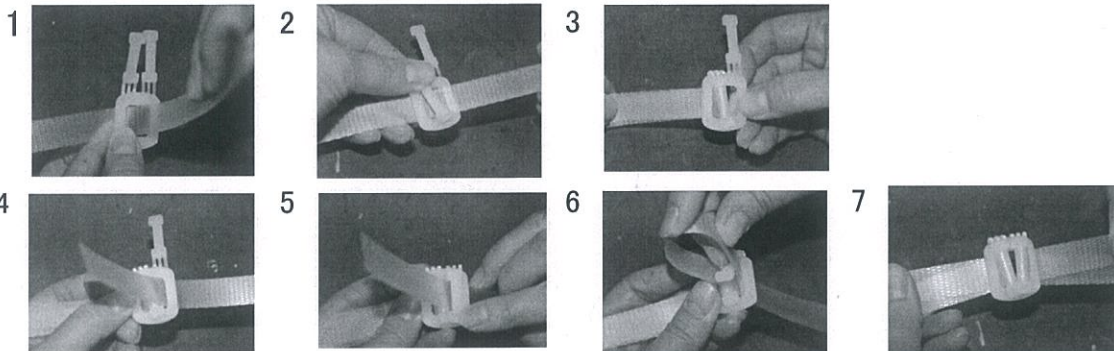


出荷伝票下のビニール封筒の中の返却用着払い伝票を貼り付け位置に貼って返してください。(写真右)

*PPバンドを留め具を使って留めて下さい。

この度は、ご利用頂きましてありがとうございましたm(_)

PPバンドの取り扱い手順



※上段の写真1~3の順番に片側を留めて頂き、次に下段写真4~7の順番にもう一方を留めてください。上図を参考にしても留め方が分からない場合は、ドライバー様にお尋ねください。

** バーナー部分:返却時の梱包方法 **

【下図は間違っている状態です】

【下図は正しい状態です】

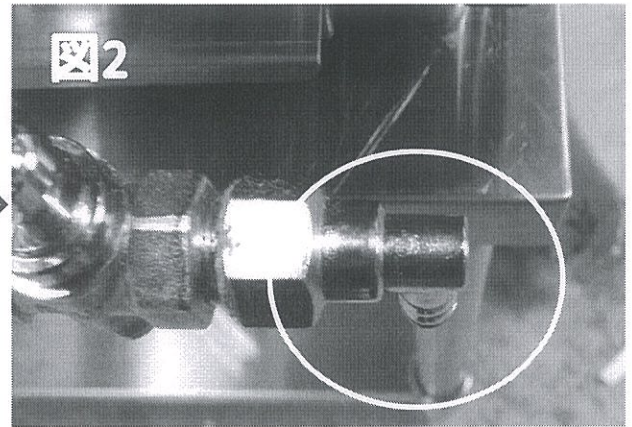
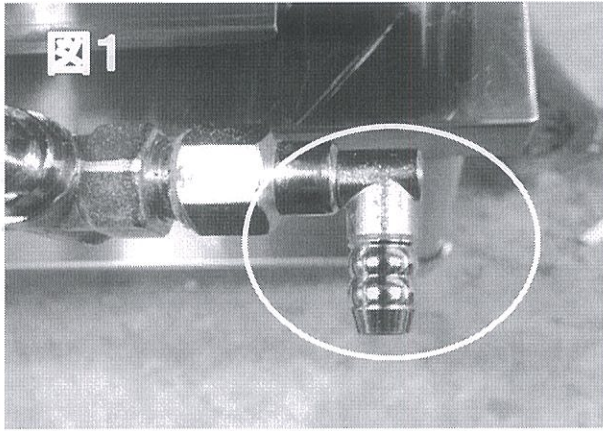
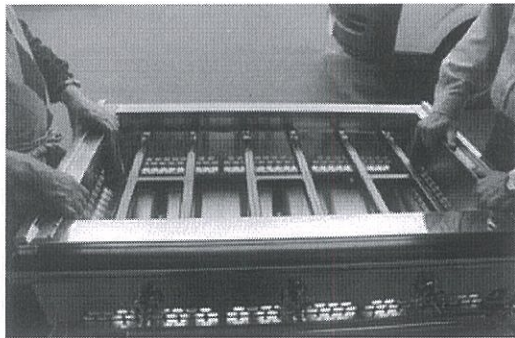


図1のように、ゴムホースを繋ぐ部分が横になっている状態では、箱に入れしないでください。

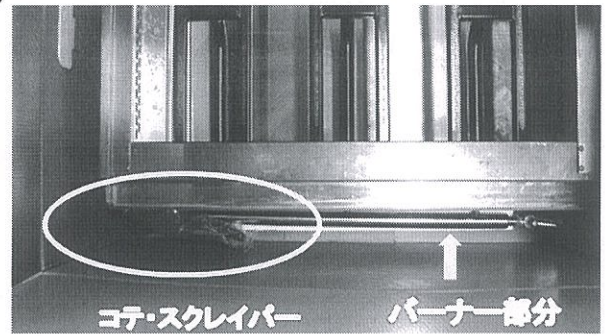
上の図2の様にゴムホースを繋ぐ部分を下に倒してから、箱に入れてください。

図2様に必ず倒してください。

①



②



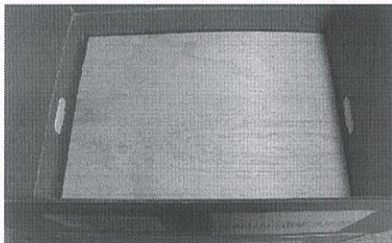
要注

* H型**手前**のバーナー部分を持たないでフチを持ってください。バーナーがこわれてしまいます。

*箱にバーナーを入れてください。

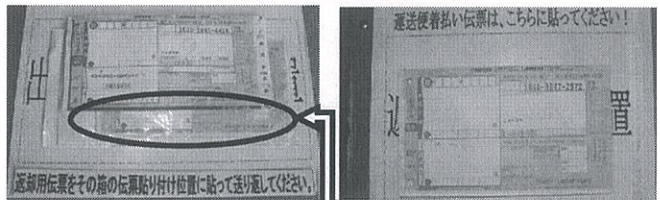
上図のように備品のコテ2個・スクレイパー1個をビニール袋に入れてからバーナーの側面に入れてください。

③



*バーナー保護のため、ベニヤ板を上を被せてください。

④



出荷伝票下のビニール封筒の中の返却用着払い伝票を貼り付け位置に貼って返してください。(写真右)

*同封されていたPPバンドを留め具を使って留めてください。

出荷作業完了です♪

*その上に、パッキンを被せてください。※パッキンが入って

ないタイプは、パッキンなしでそのまま梱包してください。この度は、ご利用頂きましてありがとうございましたm(_)_m

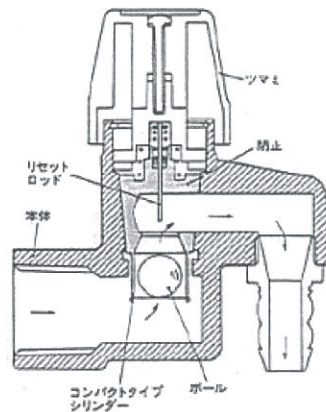
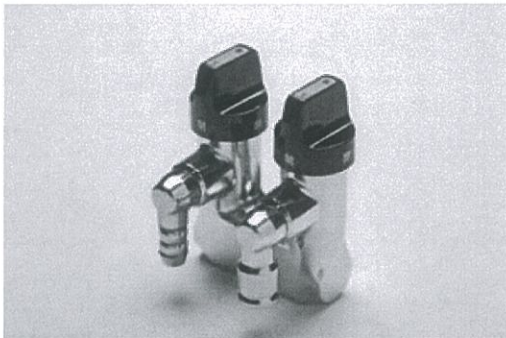
◆◇ 使用前の注意 ◇◆

- ・器具に表示してあるガス以外のものでは絶対に使用しないでください。
- ・LPガスを使用の場合は、必ず低圧ガバナーをご利用ください。
(ガバナとは「整圧器」ともいいます。ガスの消費量の増減にあわせてガスの圧力を自動的にコントロールする機能を持っています。ガス屋さんにお問い合わせください。)
- ・中、高圧ガバナーを使用されますと、ガス漏れおよびガス爆発の可能性があります。
- ・ガスホースはホースエンドの赤線の所まで差し込みゴム管止めでしっかりと止めてください。
- ・なおガスホースは出来るだけ最短にしてお使いください。
またガスホースが古くなるとヒビ割れが入り、ガス漏れの恐れがありますので早めにお取り換えください。
- ・設置場所は不燃性の台の上に置き傾かないように注意して置いてください。
- ・また壁より側方、後方とも10センチ以上は離してください。
- ・強い風が吹き込む所の設置はガスが立ち消えになり危険ですので十分注意してください。
- ・お子様の使用は危険ですので絶対にさせないでください。
- ・部屋の換気は十分に行ってください。換気が不十分だと酸素が減少して不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。
- ・ガス器具の移動は必ず元栓を閉めて行ってください。
- ・このガス器具は日本国内専用になりますので国外では使用しないでください。

◆◇ 火傷怪我の防止のために ◇◆

- ・使用中及び使用直後は、器具全体が熱くなっていますので必要な所以外は手や体の一部は触れないようにしてください。
- ・器具の梱包は器具が十分に冷えてからしてください。
- ・ガス漏れに気付いた時は、すぐにガスの元栓を閉じ窓や戸を全開にしてガス供給会社に電話してください。
その時電気器具のスイッチの入り切りやたばこの火は絶対に付けないでください。

ガスに火がつかない場合は？



お客様が用意したプロパンガスボンベには通常上記の様なガスコックが付いていますが、このガスコックの中には図の様な安全装置が付いています。(過大な流量のガスが流れるとボールが押し上げられてガスを遮断します。ラムネの瓶のビー玉をイメージしてください) レンタル頂いた弊社のガス機器に火がつかない場合の殆どがお客様が用意したプロパンガスボンベの安全装置が働いてガスが遮断されてる状態です。この安全装置は一度プロパンガスボンベのガスコックを閉じる事でリセットされます。ガスホースをガス機器つないでコックを開けても火がつかない場合は

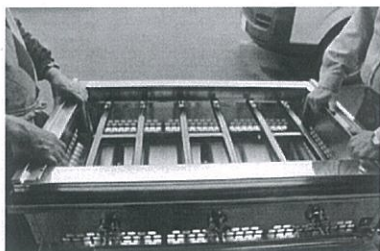
1. 弊社からレンタルしたガス機器のガスコックを一度全部閉じる。
2. プロパンガスボンベのガスコックを一度閉じる
3. 閉じたプロパンガスコックのコックを再び開ける
4. 弊社からレンタルした機器のガスコックを開けて火をつける

上記の順番を試してください。

※

ガス機器のコックを開けたままプロパンガスのガスコックを開けると抵抗無くガスが流れるためにプロパンガスボンベの安全装置が働きガスを遮断する場合があります。

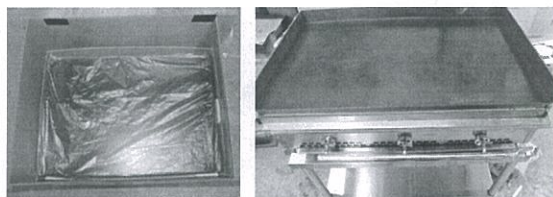
鉄板焼き機の使用法



【図 I】

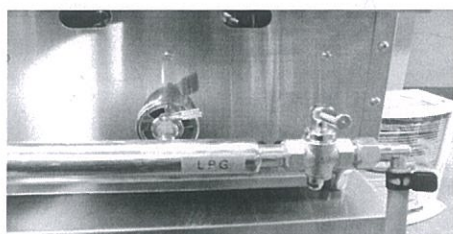


- ※ H型バーナーと手前のガス管部分を持たないでフチを持ってください。
H型バーナーと手前のガス管がこわれてしまいます。

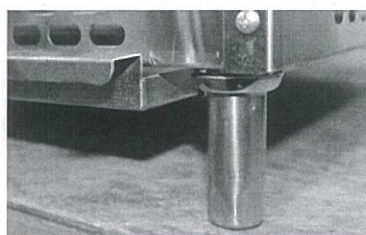


- ※到着時は図 I の様にホコリが付かないようにビニール袋に入れておきますので、取り外してください。

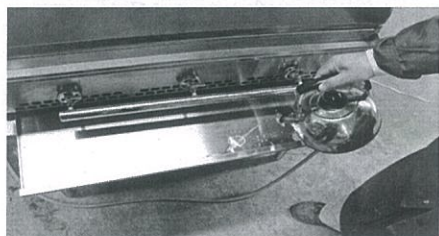
- 1.バーナー部分に鉄板をセットしてください。
この際、鉄板の淵が無い方が手前になるようにしてください。



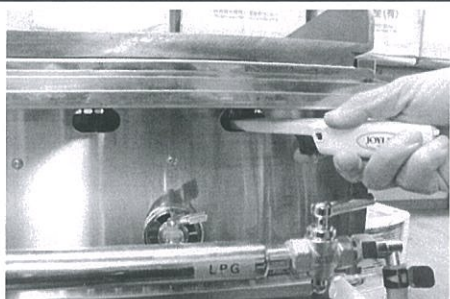
- 2.ガスホースを図のように繋げてください。



- ※4本の足は、5cm位まで高さ調節可能です。
屋外イベントで水平を出すのに便利です。

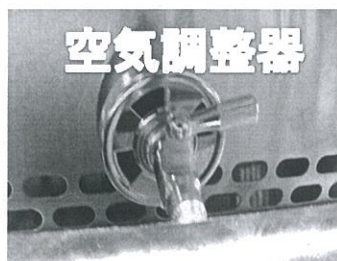
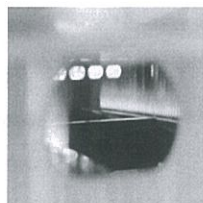


- 3.バーナー部分下部の引き出しに水を貯めてください。
(この水は高温になり過ぎない為に入れていまして、切らさないように注意してください。)



- 4.元バルブとバーナーバルブを開いてください。
のぞき窓に着火マンを入れて(奥まで入れてバーナーのガスが出る穴のあいてる部分迄入れてください。)点火してください。

最初はガスホースに空気が混じって点火しにくい場合があります。
火が付かない時は少し時間を空けてから、もう一度繰り返して点火してください。ガスが充満して爆発の恐れがありますので十分にご注意ください。



- 5.ガスが完全燃焼している時は炎が淡い青色をしています。
のぞき窓から確認してください。

炎が赤くなり、炎が飛ぶ場合は空気調整器をまわして状態を見ながら調整してください。

調理中不慮の出来事で火が立ち消え、ガス漏れを起こす事が有りますから、ガス器具から離れる時は必ず火を消してください。
火力を調整する時は各バーナーのコックで調整してください。